

2019年度「物流講座」 開催案内

1. 物流講座の目的

今後の港湾運営の戦略検討に資するため、国際物流の最新動向を学び、物流の視点からの港湾のあり方を考える貴重な機会を提供するとともに、その成果を実務面へ反映させるため講義とともに討議を行う。

2. 受講対象

港湾管理者、港湾所在自治体、国土交通省地方整備局、コンサルタント、港湾関連企業等の職員で、実務経験5年以上の職員。

3. 開催時期 2019年6月13日(木)～14日(金)

4. 会場

TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール14C
東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館 14階 電話 03-5572-7811



5. 募集受講者数

100名

(定員に達した場合には、申込期限にかかわらず締切らせて頂きます。)

6. 受講料(税込み)

日本港湾協会会員 10,000円 非会員 15,000円

申込受付後、請求書を送付いたします。

7. 申込み方法

申込受付期間：2019年4月1日(月)から5月13日(月)まで

(公社)日本港湾協会ホームページ (<http://www.phaj.or.jp>)「講演会・講習会・物流講座」からお申し込みください。

※ 問合せ先 (公社)日本港湾協会 森田、畑谷 電話03-5549-9574

《裏面もご覧下さい》

2019年度 物流講座 カリキュラム

場所：TKP赤坂駅カンファレンスセンター
 (東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館14階)

【2019年6月13日(木)】

時間帯	内 容	講 師
10:20~10:30	開講挨拶	(公社)日本港湾協会 理事長 須野原 豊
10:35~11:45 (70分)	「物流倉庫と港湾」 賃貸型物流施設の事業のしくみ、物流施設の立地条件、荷主の意向、臨港地区の得失、荷役の高機能化・自動化、Eコマース、複数企業へのシェアリングサービスなど	大和ハウス工業(株) 建築事業推進部営業統括部 Dプロジェクト推進室部長 手塚 公英 氏
13:15~16:45 (210分)	「港湾の経営とロジスティクス戦略」 サプライチェーン時代の港湾、ロジスティクス・ハブ港湾への脱皮、日本の成長戦略と港湾の役割、アジア域内物流システムの強化と港湾の対応など 〈意見交換〉	政策研究大学院大学 客員教授 井上 聰史 氏
17:00~18:30	懇談会	

【2019年6月14日(金)】

時間帯	内 容	講 師
9:30~10:40 (70分)	「林産品の輸出振興」 林産品をめぐる国際情勢、原木輸出国ニュージーランドの現状と今後、わが国の林業と林産品輸出入の状況、今後の展望	前日本港湾協会研究主幹 (国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所所長) 佐野 透 氏
10:50~12:00 (70分)	「アジア近海 RoRo 航路の現状と課題」 琉球海運の近距離国際航路の現況、RoRo/コンテナの違い、内航船と外航船の違い、欧州 RoRo 航路の実態、シームレス物流、上海スーパーエクスプレス SSE の経過、アジア域内の短距離海上輸送の展望	琉球海運(株) 特別顧問 寺内 昌弘 氏
13:15~15:50 (155分)	「物流の基礎と現代物流の動向」 物流とサプライチェーン、アジア物流、コールドチェーンなど 〈意見交換〉	流通科学大学 商学部教授 森 隆行 氏
15:50~16:00	閉講式	